

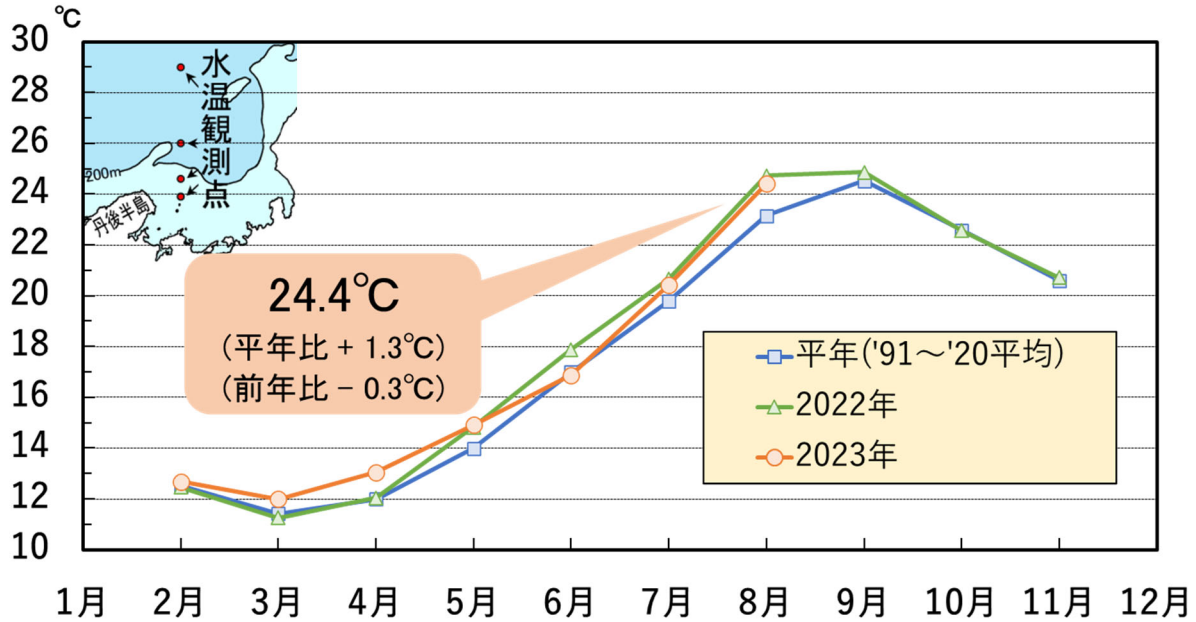
京都府漁海況情報

京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

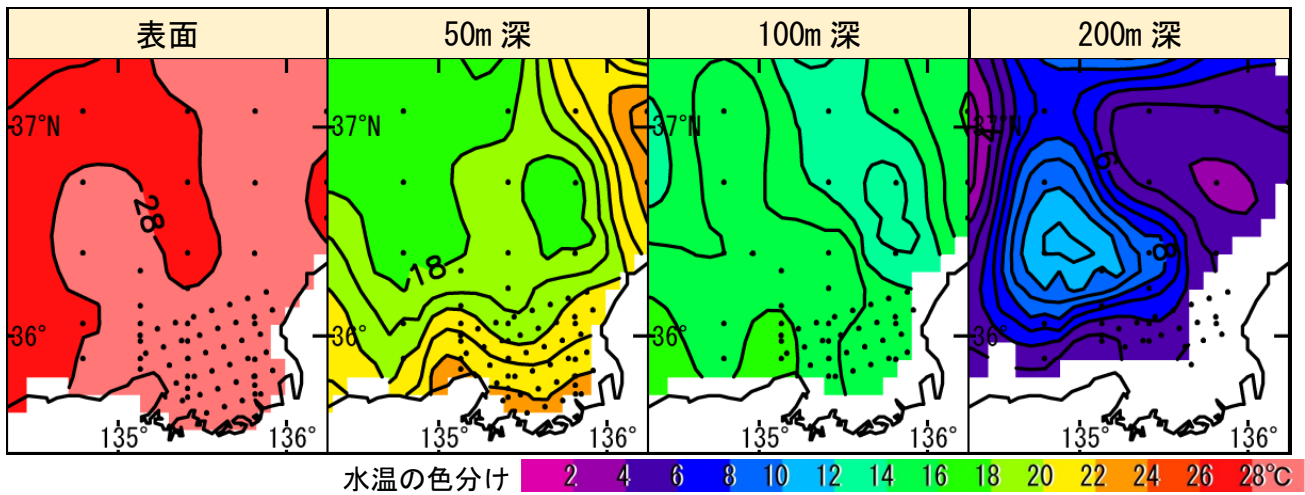
《海の状況》

【現況】

京都府沖の表層水温 (0~50 m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2023年8月上旬)



資料元: 日本海区水産研究所

【今後の見込み】

向こう1か月程度の海の子報	
京都府周辺の表層水温	平年より「かなり高い」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	平年より「かなり強い」で推移する見込み

資料元: 気象庁

≪漁模様 2023年7月≫

【定置網漁業】

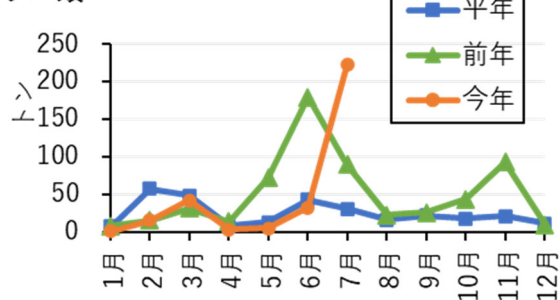
サバ類が平年の7.2倍（前年の2.5倍）と好調でした。一方、サワラは平年の5割強（前年の7割弱）、カタクチイワシは平年の1割強（前年の2割強）、マアジは平年・前年の4割強と低調でした。全体では、平年の7割強（前年とほぼ同じ）と低調でした。

2023年7月の漁獲量（上位10魚種）（トン）					京都府漁協集計
魚種	2023年	2022年(前年比)	平年(平年比)	備考	
サバ類	223.1	89.9 (248%)	31.1 (717%)	<サワラ銘柄別> さわら大(3kg以上): 0.4トン さわら(2-3kg): 2.1トン さわら中小(1.5-2kg): 18.1トン さわら小(1-1.5kg): 37.3トン さごし(0.4-1kg): 4.9トン など <ブリ銘柄別> ぶり: 0.3トン まるご: 0.2トン はまち: 5.0トン つばす: 15.2トン <タイ類> マダイ: 5.8トン クロダイ: 2.0トン キダイ(連子鯛): 0.3トン など	
サワラ	62.8	91.2 (69%)	116.2 (54%)		
トビウオ	60.4	56.3 (107%)	38.3 (158%)		
カタクチイワシ(たれ)	50.2	245.0 (21%)	433.2 (12%)		
マアジ	28.5	62.8 (45%)	70.2 (41%)		
ブリ	20.7	21.4 (97%)	67.2 (31%)		
イカ類	15.3	8.9 (173%)	21.4 (72%)		
スズキ	13.6	12.1 (112%)	13.9 (97%)		
マルアジ(青あじ)	8.5	8.8 (96%)	8.4 (101%)		
タイ類	8.2	4.5 (183%)	6.2 (133%)		
その他	136.1	36.1 (377%)	41.7 (326%)		
合計	627.4	637.1 (98%)	847.8 (74%)		

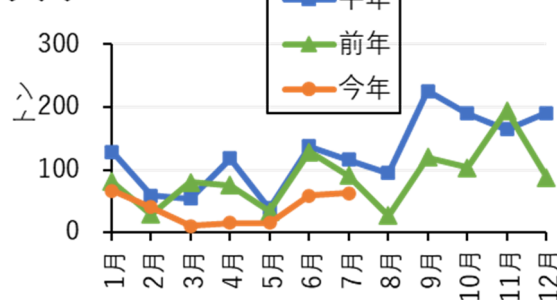
※平年：2013-2022年平均

<主要魚種の漁獲量の推移>

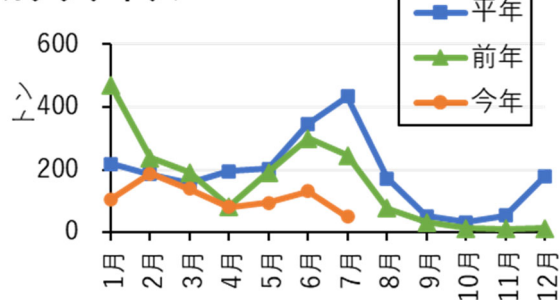
サバ類



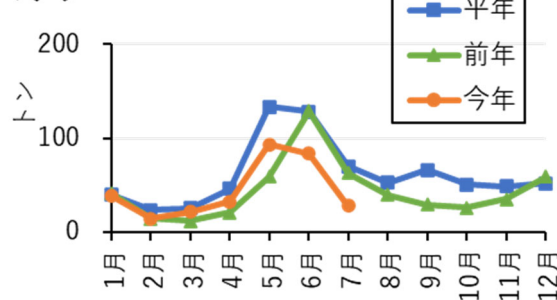
サワラ



カタクチイワシ



マアジ



平年は過去10年同月平均

【底曳網漁業】

資源保護のため6月から8月は休漁です。

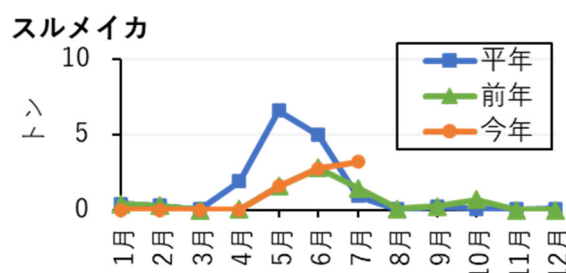
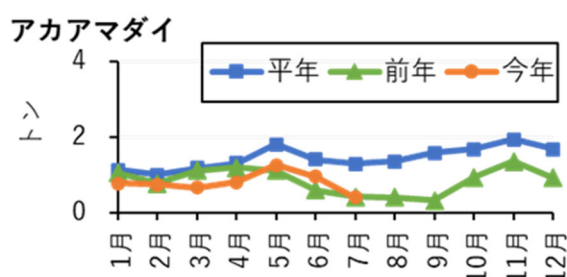
【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は、平年の9割強（前年の1.4倍）でした。

2023年7月の漁獲量（上位5魚種）（トン）					京都府漁協集計
魚種	2023年	2022年(前年比)	平年(平年比)	備考	
イカ類	3.5	1.6 (219%)	2.7 (131%)	<タイ類> マダイ: 0.2トン キダイ(連子鯛): 1.9トン など	
タイ類	2.2	1.8 (119%)	3.0 (72%)		
メバル類	1.5	1.4 (108%)	1.8 (84%)		
アカムツ(のど黒)	0.7	0.5 (148%)	0.2 (410%)	<イカ類> スルメイカ: 3.2トン ケンサキイカ(白いか): 0.3トン など	
アカアマダイ(ぐじ)	0.4	0.4 (95%)	1.3 (30%)		
その他	3.4	2.3 (145%)	2.6 (133%)		
合計	11.6	8.5 (138%)	12.3 (94%)		

※平年：2013-2022年平均

<主要魚種の月別漁獲量>



《編集後記》

令和5年8月8日から9日にかけて、マダイの種苗放流が行われました。京都府栽培漁業センターがマダイ親魚から採卵し、約3ヶ月で5cm程に育ったマダイ種苗は、定置・釣り漁業者らの手によって宮津湾沖の34海区（通称：マダイの里）へ放流され、放たれたマダイ達は隠れ場所を探して急いで海底へ潜っていきました（右下画像：魚群探知機に映ったマダイ種苗と思われる魚影）。2日間の放流尾数は、合計62万尾でした。この小さなマダイ達が、数年後、大きくなって京都でたくさん漁獲されることを期待します。

水中のホース先に見えるのが、放流されたマダイ種苗

